

Combi

join.(ジョイン)

Baby Carrier

取扱説明書



抱っこひもを3年以上で使用の場合、生地などの経年劣化により、本来の性能を果せず危険をまねくおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

コンビ株式会社のホームページで、使いかたを動画で確認することができます。

品質保証書付



注意

- 誤った使用方法でお子さまが傷を負う可能性がありますので、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
- 本製品を他のかたにお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。

もくじ

お使いいただく前に

ご使用の前に	1
安全にお使いいただくために	1
各部のなまえ	5
装着前の準備	6

タテ対面だっこ

首すわり(4ヵ月ころ)～24ヵ月(体重13kg)まで	
装着する(先のせ装着)	7
装着する(後のせ装着)	9
装着状態をチェックする	11
タテ対面だっこのはずしかた	12

おんぶ

首すわり(4ヵ月ころ)～36ヵ月(体重15kg)まで	
装着する	13
装着状態をチェックする	15
おんぶのはずしかた	15

おやすみフード

おやすみフードの使いかた	16
--------------	----

ポケット

ポケットの使いかた	17
-----------	----

腰だっこ

腰すわり(7ヵ月ころ)～24ヵ月(体重13kg)まで	
装着前の準備	18
装着する	18
装着状態をチェックする	20
腰だっこのはずしかた	21

その他

お子さまの位置を調節する	22
Q&A	23
本体のお手入れ	24
点検とアフターサービスについて	24
抱っこひもの「標準使用期間」について	24
SGマークと被害者救済制度	25
品質保証書	26

ご使用の前に

このたびはjoin. (ジョイン)をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この製品は、お子さまを「だっこ」や「おんぶ」をして、外気浴、買い物などのために使用するための1人用抱っこひもです。ご使用前に「各部のなまえ」(5ページ)をご確認ください。

本製品を使って、お子さまを「タテ対面だっこ」「おんぶ」「腰だっこ」することができます。

タテ対面だっこ



おんぶ



腰だっこ



安全にお使いいただくために

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や物的損害の大きさと危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■ 使用できるお子さまの月齢について

(お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります)

使いかたのスタイル	参考月齢				限度体重
	新生児 (0ヵ月)	首がすわる (4ヵ月ごろ)	腰がすわる (7ヵ月ごろ)	24ヵ月	
タテ対面だっこ		首すわり～24ヵ月まで			13kgまで
おんぶ		首すわり～36ヵ月まで			15kgまで
腰だっこ			腰すわり～24ヵ月まで		13kgまで

- 冬場など厚着をしますと、お子さまの体格によっては使用できなくなることがあります。お子さまの体格を考慮し、無理のない服装でご使用ください。
- 使用者の腰まわりは120cmまでです。

■ ご使用前に、品質保証書(26ページ)に次の項目を記入してください。

- ① 製品名、ロットNo. (ホールドカバリー収納ポケット内側の洗濯表示ラベル裏に記載されています)
- ② お客様のお名前・ご住所・電話番号
- ③ 販売店名

■ 品質保証書上部のレシート貼り付け欄(26ページ)に領収書(レシート)をお貼りください。

表示	表示の内容
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

枠(2～4ページ)の中に具体的な注意内容が書かれています。

記号は警告・注意をうながす内容があることをお知らせするものです。

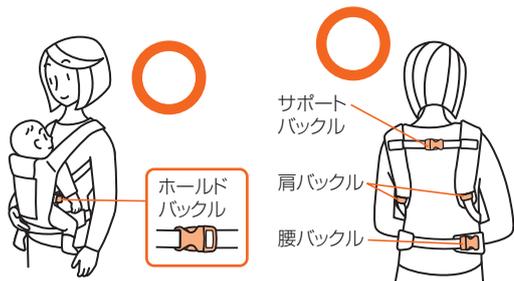
警告

【とめる】

ご使用の際は、以下のバックルを必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下するおそれがあります。

●タテ対面だっこ

- ホールドバックル
- サポートバックル
- 肩バックル(左右)
- 腰バックル



●おんぶする時

- ホールドバックル (ホールドカバー使用)
- サポートバックル
- 肩バックル (左右)
- 腰バックル



●腰だっこする時

- ホールドバックル
- 肩バックル(左右)
- 腰バックル



【調節する】

ご使用の際は、以下のベルトの長さを使用者の身体にあわせて必ず調節してください。お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

●タテ対面だっこ

- サポートベルト
- わきベルト (左右)
- ホールドベルト
- 腰ベルト



●おんぶする時

- サポートベルト
- わきベルト (左右)
- ホールドベルト
- 腰ベルト



●腰だっこする時

- わきベルト (肩側、腰側)
- ホールドベルト
- 腰ベルト



警告

お子さまが開口部から落下したり、窒息など思わぬ事故につながるおそれがあります。固定箇所を確実にとめて、各部を正しく調節してください。

お子さまの乗せおろしは、ソファやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、低い姿勢で乗せおろししてください。お子さまが落下するおそれがあります。特におんぶ時は注意してください。



使用中に走ったり、飛び跳ねたり45°以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。お子さまが開口部から落下するおそれがあります。ものを拾うなどの動作でかがむ際は、必ず手でお子さまを支え、お子さまの頭が下向きにならないように膝を曲げてかがむようにしてください。



だっこするときは、必ず手で支えてください。お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。



お子さまの顔が使用者の身体に密着する、あごが胸につくほど首が強く曲がるなど、気道をふさぐ状態にならないよう注意してください。お子さまが窒息するおそれがあります。装着時はお子さまの頭部を動かす余裕があるよう装着してください。



製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。



首がすわっていないお子さまに対しては、絶対にタテ対面だっこ(専用インファントシートなし)やおんぶをしないでください。お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



タテ対面だっこやおんぶの際、腰パッドでお子さまの足をはさまないように注意してください。お子さまの足を圧迫するおそれがあります。



ポケットには、とがったものを入れないでください。お子さまが傷害を負うおそれがあります。



タテ対面だっこやおんぶの際、お子さまのわきの下が抱っこひものシートにあたってしまつときには、必ずお子さまの位置を調節してください。(22ページを参照) あたつたまま使用するとお子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



⚠ 注意

電車、バス以外の乗り物などでは使用しないでください。お子さまの思わぬ動きで転倒のおそれがあります。



授乳後約30分以内や、連続2時間以上(別売の専用インファントシート使用時は1時間以上)の使用はしないでください。お子さまや使用者に思わぬ負担をかけるおそれがあります。



お子さまの様子を常に確認してください。異常が見られたときには、すぐに使用をおやめください。



使用者が体調がすぐれないときや痛み、不快を感じたときは使用を中止してください。



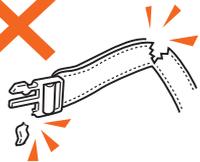
タテ対面だっこや腰だっこの際、お子さまの頭で前方の視界がさまたげられないようにしてください。また、足元が見えにくくなる場合がありますので、歩行には注意してください。



家事での使用には、前かがみによる落下、コンロなどによるヤケド、包丁などによるケガには十分注意してください。



製品のほつれ、傷、やぶれを見つけたとき、またバックルなどの部品が1カ所でも破損したときには、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると、事故につながるおそれがあります。



製品を火の近くや屋外に放置しないでください。熱や雨水などでバックルや生地などが変質し、事故につながります。



お子さまをだっこまたはおんぶする以外の目的では使用しないでください。破損・故障の原因になります。



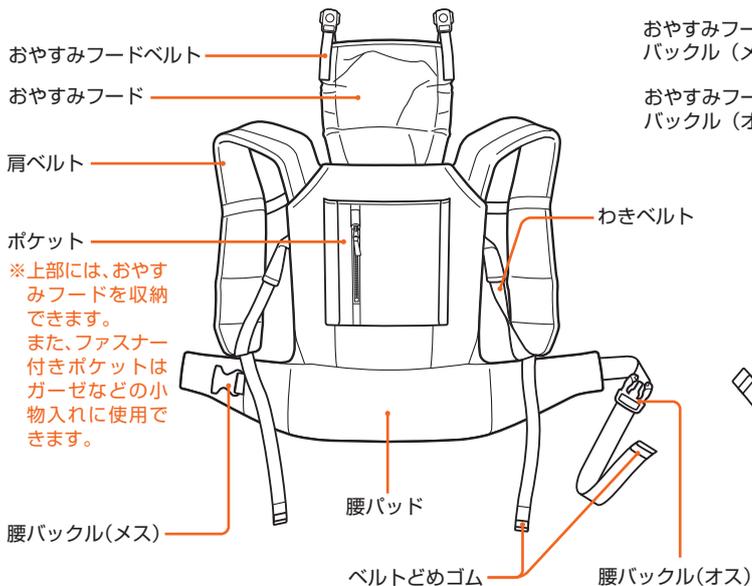
はずした状態のバックルの開口部にお子さまが指を入れないように注意してください。すき間に指が入って抜けなくなったり、ケガをするおそれがあります。製品を使用しないときは、バックルをとめた状態で保管してください。



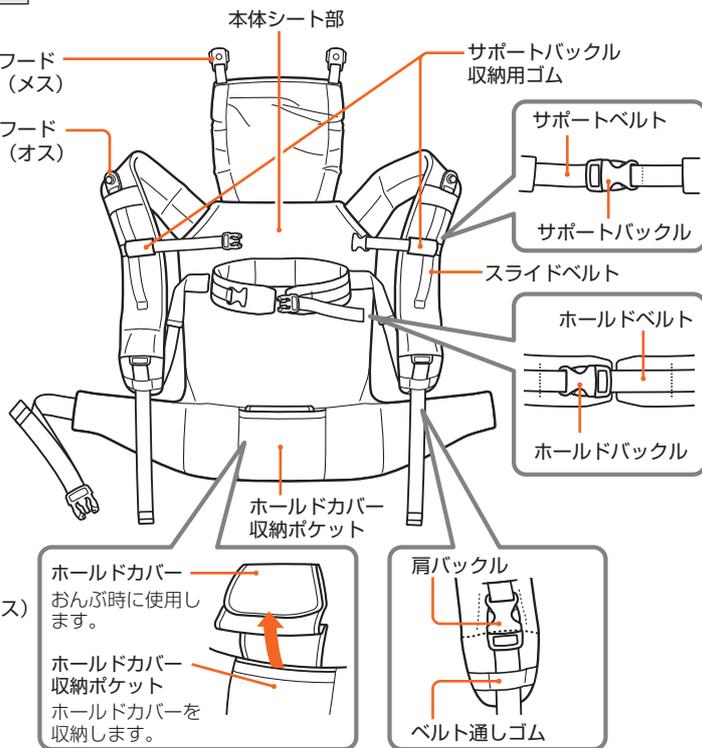
各部のなまえ

抱っこひも (本体)

外側



内側



装着前の準備

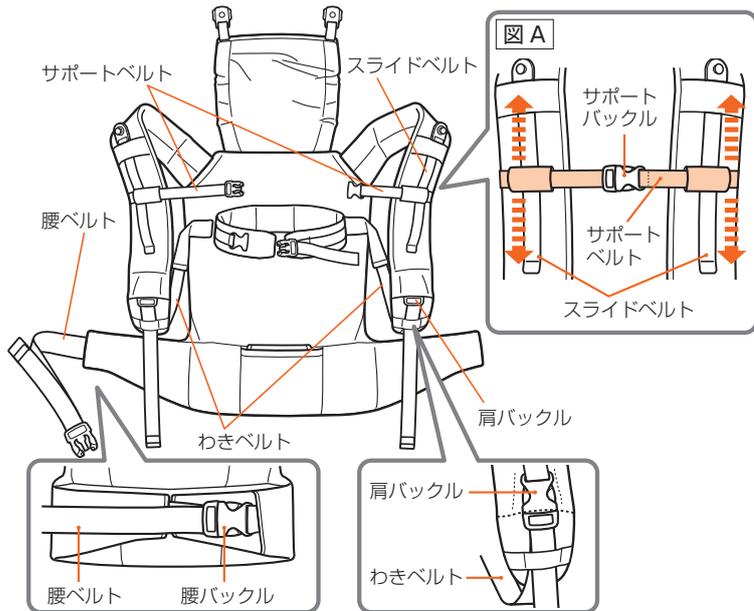
装着前にベルトの長さを調節する

装着前に各ベルトの長さを調節してください。調節できるベルトの位置は下図の通りです。

腰パッドがフィットするように、腰ベルトの長さを調節しておきます。サポートベルトの長さや高さも調節しておきます。

●サポートベルトの高さを調節する

左右のサポートベルトをスライドベルトにそって上下に動かし、同じ高さに調節します。(図A参照)



ベルトの長さを調節する方法

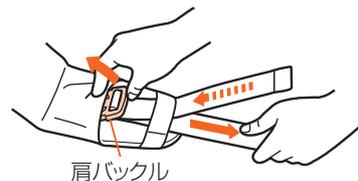
下図のようにしてベルトの長さを調節してください。

※ここでは、わきベルトのイラストで説明しています。

- 短くするとき、ベルトのあまりを引っぺがります。



- 長くするときはバックルを立てて、ベルトを引き戻します。



ベルトが引きにくいときは、図のようにバックルを立てて引いてください。

ベルトは、抱っこひもを装着したままでも調節することができます。



お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

タテ対面だっこで使うには (先のせ装着)

装着する ※先のせ装着はお子さまをより安定した状態で装着できます。

先にお子さまを本体に乗せ、ホールドバックルをとめてからだっこします。

1 腰バックルをとめる

『カチッ』と音がするまで差し込んでください。

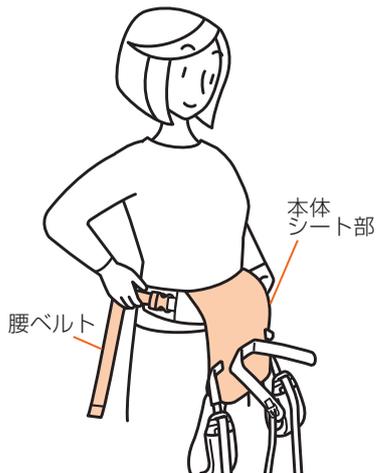


ワンポイント

腰ベルトは、使用者が快適な位置に装着してください。
負担を軽減するには、腰パッドをウエストより少し下の腰骨の位置に装着するのがおすすめです。

2 腰ベルトを調節し、本体シート部を正面にする

腰ベルトの調節のしかたは「装着前の準備」(6ページ)をご覧ください。



腰ベルトのあまりは
図のようにベルトどめゴム
でまとめるこ
とができます。



3 本体を安定した場所に広げ、お子さまを本体シート部に乗せる



警告

お子さまの乗せおろしは、ソファやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、低い姿勢で乗せおろししてください。お子さまが落下するおそれがあります。

4 ホールドバックルをとめ、ベルトの長さを調節する



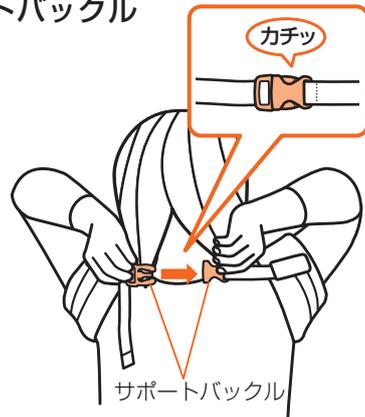
ホールドバックルは確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

5 お子さまを支えながら、左右の肩ベルトを肩にかける



装着時はお子さまを必ず手で支えてください。お子さまが落下するおそれがあります。

6 首の後ろでサポートバックルをとめる



サポートバックルをとめる際にはお子さまが落下しないよう注意し、サポートバックルを確実にとめてください。
とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

7 わきベルトを調節し、使用者の身体にフィットさせる

わきベルトのあまりは図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。



タテ対面だっこで使うには (後のせ装着)

装着する

先に本体を使用者の身体に取り付け、お子さまをだっこしてからホールドバックルをとめます。

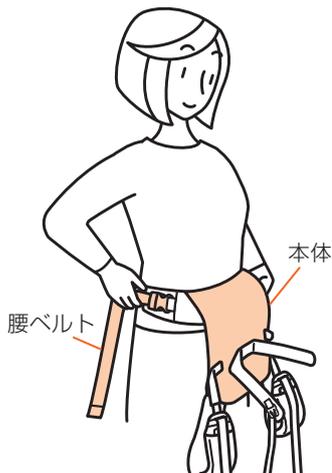
1 腰バックルをとめる

『カチッ』と音がするまで差し込んでください。



2 腰ベルトを調節し、本体シート部を正面にする

腰ベルトの調節のしかたは「装着前の準備」(6ページ)をご覧ください。



3 お子さまを抱き上げ、本体シート部に乗せる



ワンポイント

腰ベルトは、使用者が快適な位置に装着してください。
負担を軽減するには、腰パッドをウエストより少し下の腰骨の位置に装着するのがおすすめです。

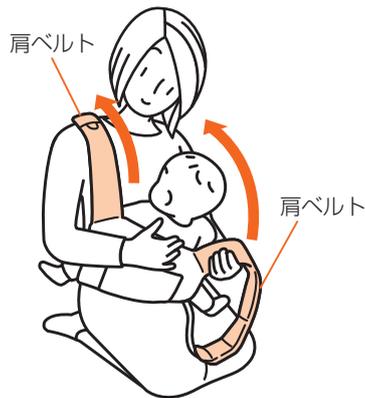
腰ベルトのあまりは
図のようにベルトどめゴム
でまとめることができます。



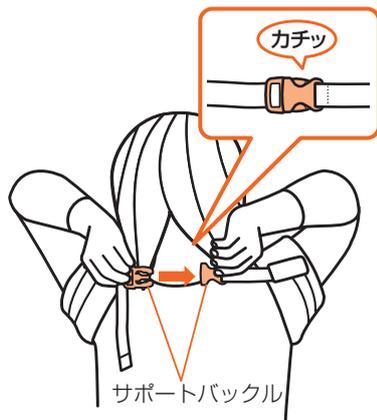
警告

お子さまの乗せおろしは、ソファーやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、低い姿勢で乗せおろししてください。お子さまが落下するおそれがあります。

4 お子さまを支えながら、左右の肩ベルトを肩にかける



5 首の後ろでサポートバックルをとめる



6 ホールドバックルをとめ、ベルトの長さを調節する



装着時はお子さまを必ず手で支えてください。お子さまが落下するおそれがあります。



サポートバックルをとめる際にはお子さまが落下しないよう注意し、サポートバックルを確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。



ホールドバックルは確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

タテ対面だっこで使うには（つづき）

7 わきベルトを調節し、使用者の身体にフィットさせる

わきベルトのあまりは左右同じ長さになるように調節してください。わきベルトの調節のしかたは「装着前の準備」（6ページ）をご覧ください。



わきベルト



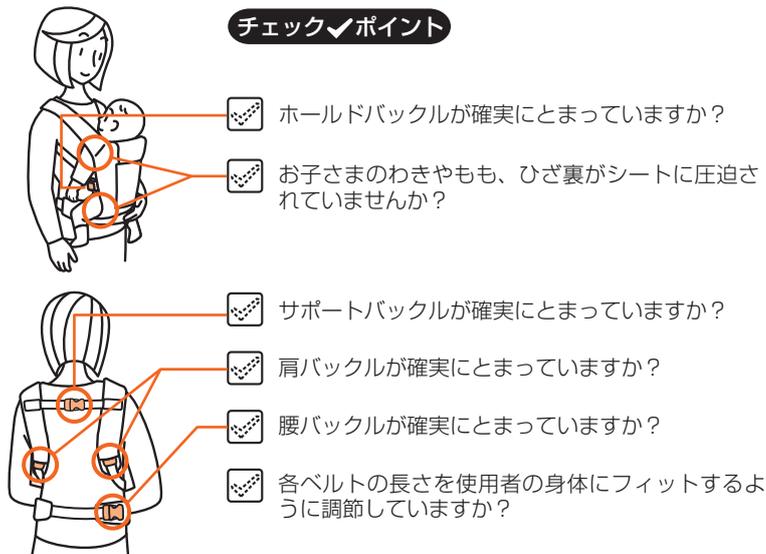
わきベルトのあまりは図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。

ベルトどめゴム

装着状態をチェックする

鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

チェック✓ポイント



ホールドバックルが確実にとまっていますか？

お子さまのわきやもも、ひざ裏がシートに圧迫されていませんか？

サポートバックルが確実にとまっていますか？

肩バックルが確実にとまっていますか？

腰バックルが確実にとまっていますか？

各ベルトの長さを使用者の身体にフィットするように調節していますか？



チェックポイントを守らないと、

- お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
- お子さまのわきやもも、ひざ裏がうっ血するおそれがあります。



お子さまの頭で前方の視界がさまたげられないように調節してください。また、足元が見えにくくなる場合がありますので、歩行には注意してください。

タテ対面だっこのはずしかた

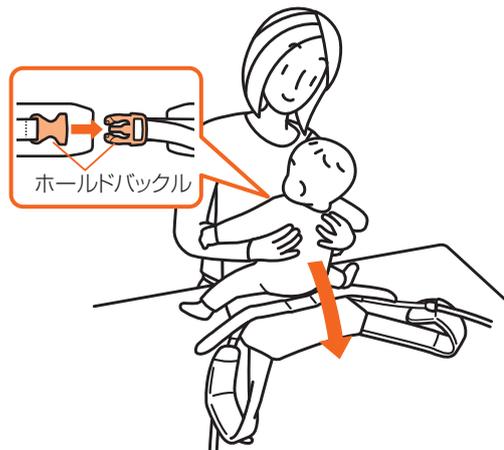
タテ対面だっこのはずしかたは次の通りです。安全な場所ではずすようにしてください。

- 1** ①お子さまを支えながら、サポートバックルをはずす
②左右の肩ベルトをはずす



サポートバックルをはずすときは、肩ベルトが急にはずれるおそれがありますので、注意してはずしてください。

- 2** ホールドバックルをはずし、お子さまをおろす



- 3** 腰バックルをはずす



お子さまのませおろしは、ソファやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、必ず手で支えながら低い姿勢でませおろししてください。

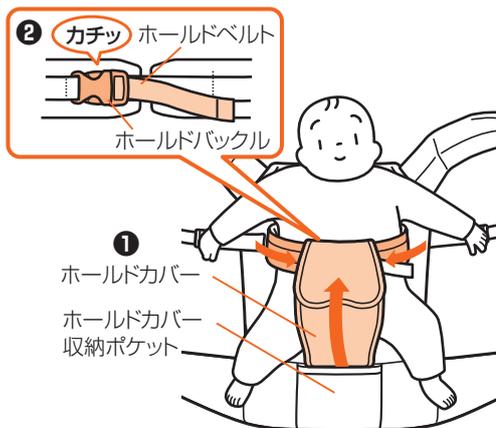
おんぶで使うには

装着する

先にお子さまを本体に乗せてから背負います。

1 ホールドカバー収納ポケットから ホールドカバーを取り出す

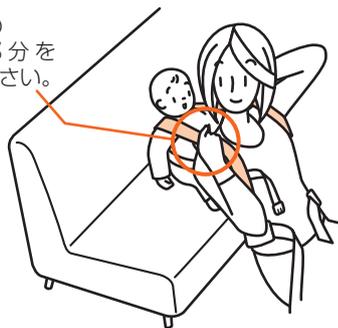
- ① お子さまを本体に乗せ、図のようにホールドカバーにホールドベルトを通します。
- ② ホールドバックルをとめ、ベルトの長さを調節します。



2 お子さまを背負う

お子さまを乗せて立ち上がるときは、肩ベルトの付け根部分をしっかりと持ってください。

肩ベルトの
付け根部分を
持ってください。

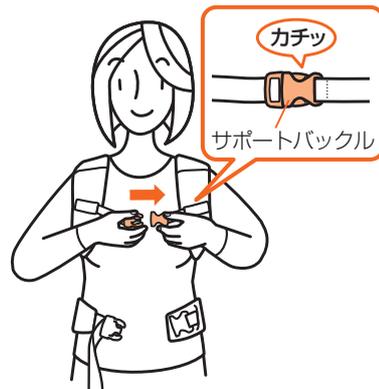


図のように、他の人にお子さまを支えてもらいながら立ち上がると、より安全です。



3 サポートバックルを とめる

サポートベルトの長さとお子さまの背の高さを適切に調節してください。



使用者が痛みや不快を感じたときは、各部のベルトを調節して対応してください。(6ページ)
それでも痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。



- お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。
- ホールドバックルを確実にとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下するおそれがあります。

4 腰バックルをとめる

『カチッ』と音がするまで差し込んでください。



5 わきベルトを調節し、使用者の身体にフィットさせる

わきベルトのあまりは左右同じ長さになるように調節してください。わきベルトの調節のしかたは「装着前の準備」(6ページ)をご覧ください。



▶ 装着後は、必ず「装着状態をチェックする」(15ページ)をご覧ください。

ワンポイント



おんぶのときは約30分ごとにお子さまの様子を確認してください。

おんぶしているときは使用者からお子さまが見えませんが、特に低月齢のお子さまの場合は約30分ごとにお子さまをおろして様子を確認するように心がけてください。

警告

腰パッドでお子さまの足をはさまないように注意してください。お子さまの足がうっ血するおそれがあります。

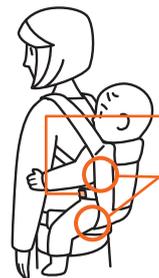


おんぶで使うには（つづき）

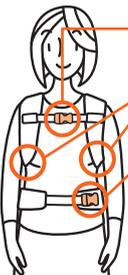
装着状態をチェックする

鏡などに姿を映し、おんぶの状態を最適な状態にしてください。

チェック✓ポイント



- ホールドバックルが確実にとまっていますか？
- お子さまのわきやもも、ひざ裏がシートに圧迫されていませんか？



- サポートバックルが確実にとまっていますか？
- 肩バックルが確実にとまっていますか？
- 腰バックルが確実にとまっていますか？
- 各ベルトの長さを使用者の身体にフィットするように調節していますか？



チェックポイントを守らないと、

- お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
- お子さまのわきやもも、ひざ裏がうっ血するおそれがあります。

おんぶのはずしかた

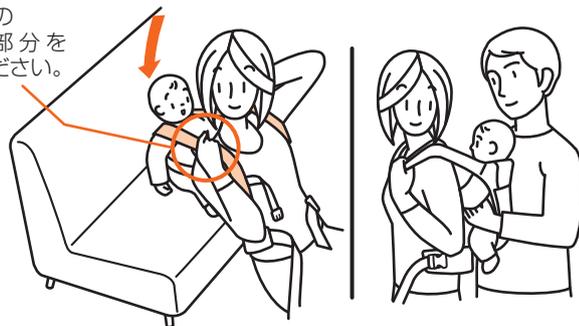
おんぶのはずしかたは次の通りです。お子さまを安全な場所におろすようにしてください。

1 サポートバックルをはずし、腰バックルをはずす

2 お子さまをおろす

図のように、他の人にお子さまを支えてもらいながらおろすとより安全です。

肩ベルトの
付け根部分を
持ってください。



3 お子さまを安全な場所へ寝かせ、ホールドバックルとホールドカバーをはずす



お子さまの乗せおろしは、ソファーやベッド、床の上など安全な場所で行い、必ず手で支えながら低い姿勢で乗せおろしてください。

おやすみフードの使いかた

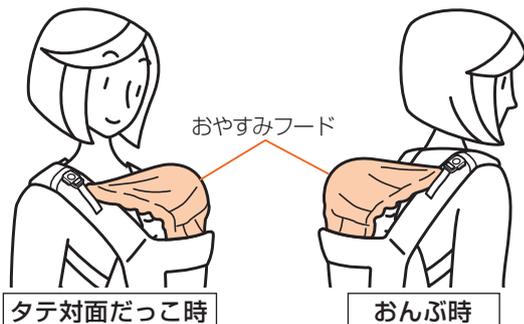
タテ対面だっこ・おんぶ時にお子さまが寝てしまった際に頭を支えることができます。また、風よけや日よけとしてもご使用できます。

※別売の専用インファントシート使用時は、おやすみフードはご使用できません。

※腰だっこ時は、おやすみフードはご使用できません。

おやすみフードの使いかた

抱っこひもの使いかたにあわせて、おやすみフードをお使いください。



おやすみフードベルトの長さを調節する方法

お子さまの成長にあわせて、フードベルトの長さを調節してください。

- 短くするときは、ベルトのあまりを引っぱります。

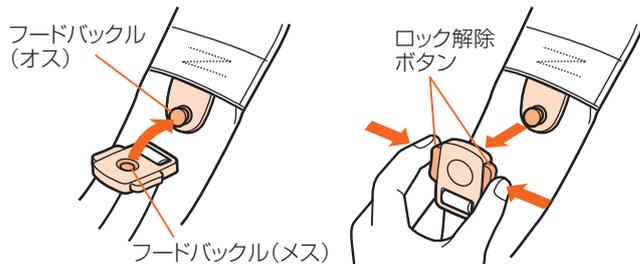


- 長くするときはバックルを立てて、ベルトを引き戻します。



取り付ける

取り付けるときは、フードバックル(メス)を肩ベルトのフードバックル(オス)に上からしっかりはめ込む『カチッ』と音がするまで押し込んでください。



取りはずす

フードバックル(メス)の左右のロック解除ボタンを押しながら上にはずす



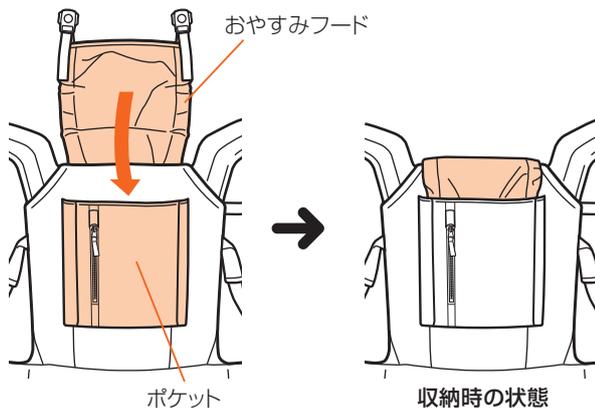
警告

- おやすみフードを使用する際は、お子さまの状態に注意しながら使用してください。気道がふさがると窒息するおそれがあります。
- お子さまが成長し、おやすみフードがきつくなった場合は使用をおやめください。お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

おやすみフードの使いかた (つづき)

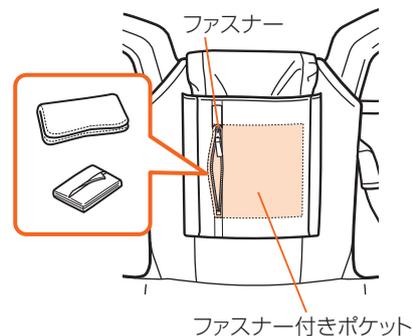
おやすみフードを使用しないときは

ポケットの上部にフードを収納します。



ポケットの使いかた

ファスナー付きポケットには、ガーゼなどの小物を収納することができます。

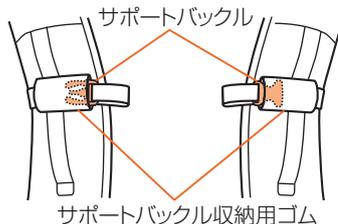


ポケットには、とがったものを入れないでください。お子さまが傷害を負うおそれがあります。

腰だっこで使うには

装着前の準備

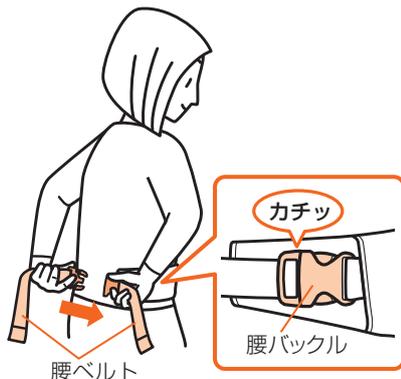
- おやすみフードはバックルをはずし、ポケットに収納する。(17ページ参照) ※腰だっこ時はおやすみフードはご使用できません。
- 左右のサポートバックルはサポートバックル収納用ゴムに収納する



装着する ※左右どちらでもだっこできます。ここでは左側でのだっこを説明します。

1 腰バックルをとめる

『カチッ』と音がするまで差し込んでください。



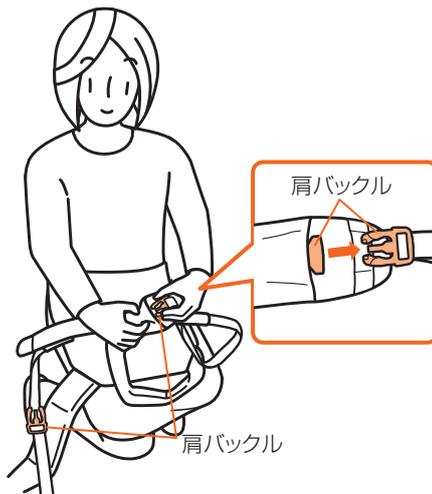
ワンポイント



腰ベルトは、使用者が快適な位置に装着してください。
負担を軽減するには、腰パッドをウエストより少し下の腰骨の位置に装着するのがおすすめです。

2 腰ベルトを調節し、左右の肩バックルをはずす

腰ベルトの調節のしかたは「装着前の準備」(6ページ)をご覧ください。



腰ベルトのあまりは図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。

ベルトどめゴム



つづく ➔

腰だっこで使うには (つづき)

- 3** 使用者から見て、左側のわきベルトを右側の肩ベルトのベルト通しゴムに通し、肩バックルをとめる



ワンポイント

左右のわきベルト長さの余りが15cm程度となるよう長めに調節しておくとう装着しやすくなります。

- 4** 右肩に肩ベルトをかける
本体を左寄りにずらしてください。



- 5** お子さまを抱き上げ、上から本体シート部にのせ、ホールドベルトをとめる

このとき、お子さまをしっかり手で支えながら、ホールドベルトの長さを調節してください。



- お子さまの乗せおろしは、ソファやベッド、床の上など必ず安全な場所で行い、必ず手で支えながら低い姿勢で乗せおろししてください。
- ホールドバックルを確実にとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下するおそれがあります。

6 左側の肩ベルトを背中から腰にまわし、肩バックルをとめる

肩バックルをとめる際は必ずベルト通しゴムに通してからとめてください。



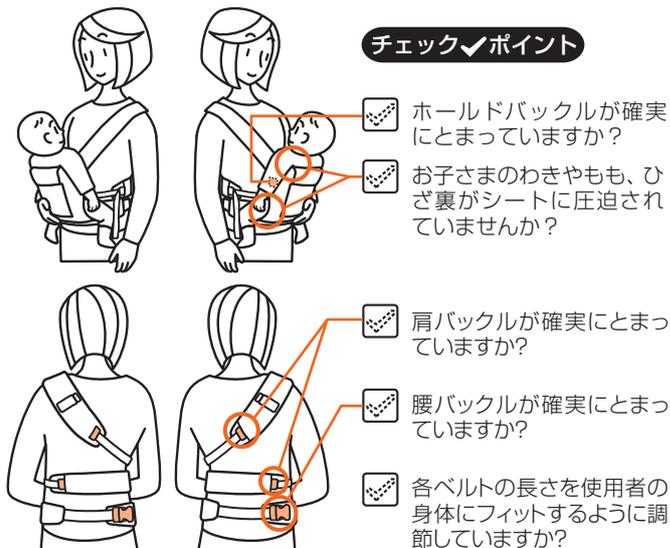
7 腰側にまわしたわきベルトの長さを調節する



装着状態をチェックする

鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

チェック✓ポイント



警告

- チェックポイントを守らないと、
- お子さまが落下するおそれがあります。
 - お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
 - お子さまのわきやもも、ひざ裏がうっ血するおそれがあります。

注意

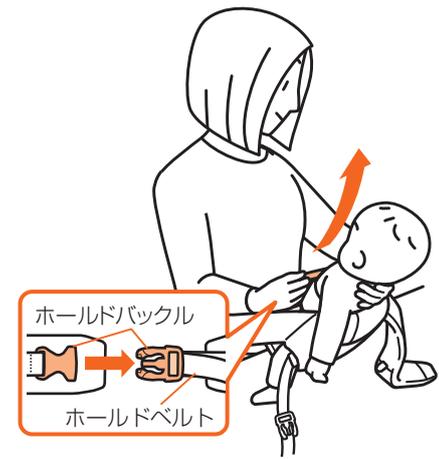
お子さまの頭で前方の視界がさまたげられないように調節してください。また、足元が見えにくくなる場合がありますので、歩行には注意してください。

腰だっこで使うには (つづき)

腰だっこのはずしかた

腰だっこのはずしかたは次の通りです。安全な場所ではずすようにしてください。

- 1 お子さまを支えながら、腰にまわした肩バックルをはずす
- 2 肩にかけた肩ベルトをずらし、はずす
- 3 ホールドバックルをはずし、お子さまをおろす



- 4 腰バックルをはずす

警告 お子さまのませおろしは、ソファーやベッド、床の上など安全な場所で行い、必ず手で支えながら低い姿勢でませおろししてください。

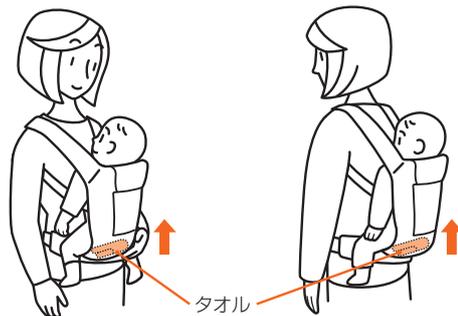
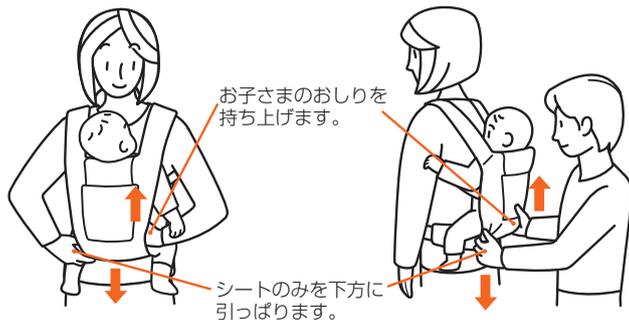
お子さまの位置を調節する

だっこやおんぶをした後に、お子さまの位置を調節する方法について説明します。

お子さまのわき・もも・ひざ裏が抱っこひものシートにあたってしまう場合 お子さまの高さを調節する場合

シートのみを下方に引っ張り、シートとお子さまの身体のすき間を調節してください。

また、下図の場所に折りたたんだタオルを入れ、お子さまのおしりの高さを調節してください。

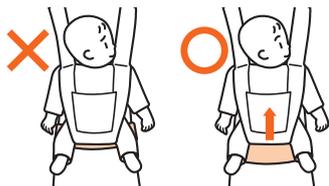


Q&A

Q タテ対面だっこ、おんぶ、腰だっこ時に肩に負担がかかります。

A ● 腰ベルトにすき間がないか確認してください。
すき間がある場合はベルトを締めなおしてください。

● お子さまのおしりの位置が腰ベルトより高くなるように調節してください。



● 肩ベルトの長さや、腰ベルトの位置を調節しなおしてください。またはお子さまの位置を調節してください。

▶ お子さまの位置の調節方法は、「お子さまの位置を調節する」(22ページ)をご覧ください。

Q タテ対面だっこ、おんぶ、腰だっこ時に密着感が足りない気がします。

A わきベルトを短く調節することで、密着感を高めることができます。

▶ ベルトの長さの調節方法は、「装着前にベルトの長さを調節する」(6ページ)をご覧ください。

Q タテ対面だっこ、おんぶ、腰だっこ時にわきベルトのあまりが長くとれ下がります。

A わきベルトはベルトどめゴムでまとめることができます。

▶ わきベルトのまとめかたは、8、11、14ページをご覧ください。

Q タテ対面だっこ、おんぶ、腰だっこ時に子どもが埋もれて見えます。

A 本体シートを引っぱったり、本体シートにタオルを入れることで高さを調節することができます。

▶ お子さまの位置の調節方法は、「お子さまの位置を調節する」(22ページ)をご覧ください。

Q タテ対面だっこ、おんぶ、腰だっこ時に腰パッドと使用者の身体間にすき間ができてしまいます。

A 腰ベルトがゆるい状態でタテ対面だっこ、おんぶ、腰だっこをすると、すき間ができてことがあります。腰ベルトの長さを短く調節して、腰パッドと使用者の身体間にすき間ができないようにしてください。



お手入れ

本体のお手入れ

日常のお手入れ

- 洗濯は水またはぬるま湯で押し洗いし、形を整えて日陰で平干ししてください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。

洗濯についてのご注意

- 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。漂白剤・蛍光増白剤入りの洗剤は肌あれ、湿疹などの原因となりますので使用しないでください。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。
- 洗濯方法、生地素材については、製品本体に縫製されております洗濯表示ラベルをご参照ください。



お子さまのよだれなどが生地に付きますと、生地がかたくなる場合がありますのでその際には早めに洗濯してください。
かたくなった生地でお子さまの肌を傷つけるおそれがあります。

点検とアフターサービスについて

- ご使用の際には、製品のほつれ、傷、やぶれ、バックルなど部品の破損がないか、確認してください。



上記を1カ所でも見つけたときには、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。

- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用中に抱っこひもの破損、異常、やぶれ、ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、ホールドカバー収納ポケット内側の洗濯表示ラベル裏をご覧ください。製品名・ロットNo.をお知らせください。
- 本製品の修理/部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があります。色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

抱っこひもの『標準使用期間』について

抱っこひもの『標準使用期間』は「新規購入後3年」です。
標準使用期間を経過した場合、材料の経年劣化により、本来の性能を果せず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります。この期間の品質を保証するものではありません。また、使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。
品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- ご使用の際には、製品のほつれ、傷、やぶれ、ホックなど部品の破損がないか、確認してください。

SG マークの被害者救済制度

SG マーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。

抱っこひもの場合は、お買い上げ日より3年以内が有効期間となります。

●賠償についてのご注意

認定された製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。



●製品の欠陥により事故が起きた場合

損害を被った消費者（お子さまなどの場合は、保護者）が、事故発生日から60日以内に下記までご連絡願います。

一般財団法人 製品安全協会
東京都台東区竜泉2丁目20番2号
ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL.(03)5808-3300

●事故の届出に必要な項目

- ① 事故の原因となった製品現品
・製品名称、ロットNo. ・購入先、購入年月日
- ② 事故発生の状況
・事故発生年月日 ・事故発生場所 ・事故発生状況
- ③ 被害の状況
・被害者の氏名、年齢、性別、住所 ・被害の状況

領収書(レシート)貼り付け欄

品質保証書 コンビ 抱っこひも

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマーブラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品名	ロットNo.	保証期間 お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
<small>(ホールドカバー収納ポケット内側にある洗濯表示ラベル裏の番号)</small>		
お客様	お名前	お買い上げ日 年 月 日
	ご住所 〒 TEL	
販売店	店名 TEL	
	住所	

修理メモ

保証規定

1. 一度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
 2. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマーブラザにお送りください。
 3. 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) 縫製品の傷ややぶれ、変色。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
 - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障及び損傷。
 - (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (f) 本書のご提示がない場合。
 - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
 - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
 5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
 - 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマーブラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - 品質保証書にご記入いただいた個人情報、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

コンビ製品をご購入いただいた方へ、知って得する情報です

コンビ製品&子育て情報サイト「コンビタウン」に会員登録すると、便利でお得なサービスがいっぱいです！

【主なサービス特典】

☆お得な情報が満載のメールマガジン

アンケート募集の他、イベントやポイントプレゼントのお知らせ、お得なコンビ製品のセール情報などをメールマガジンで会員の皆さまにお知らせします。

☆ポイントを貯めて、コンビミニでお買い物

コンビ製品の所有品登録やアンケートの回答、コンテンツへの応募などでコンビタウンポイントが貯まります。貯まったポイントはコンビミニのお買い物ポイントとして使用可能！1ポイント=1円として使えます。
※詳しくはWebサイトをご覧ください。

●特典内容は変更されることがあります。ご了承ください。

その他にも会員ならではの特典をご用意しております。
ご入会は「コンビタウン」Webサイトのトップページからお願いします。

アクセスはこちら ⇒ <http://www.combibaby.com/>

コンビタウン

検索

コンビ株式会社

- ホームページ
- オンラインショップ
- 妊娠・出産&製品口コミ情報サイト

<http://www.combi.co.jp>
<http://shop.combi.co.jp>
<http://www.combibaby.com>

製品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間：9:30～17:00 (日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

■総合受付(各種ご相談)窓口 製品に関するお問い合わせ/修理のご要望/各種ご相談/その他

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

■部品販売(相談)窓口 部品購入のお問い合わせとご注文

TEL. (048) 797-1001 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当

受付時間：10:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

*コンシューマープラザホームページ <http://www.combi.co.jp/cp/>